

第4回市議会(定例会) 主な議案の審議結果表

	議案など	北地 範久	中野 友博	豊川 和也	山代 英資	岡和 明	小出 哲義	末広 天佑	藤川 和弘	中川 智之	小田 上尚典	西村 一啓	山崎 年一	日域 究	細川 雅子	寺岡 公章	審議 結果
議案第46号	大竹市附属機関設置に関する条例等の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第47号	大竹市保育所設置条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第49号	大竹市国民健康保険条例の一部改正について	—	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	原案可決
議案第50号	広島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	原案可決
議案第51号	大竹市駐車場の指定管理者の指定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第52号	令和5年度大竹市工業用水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第53号	令和5年度大竹市公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第54号	令和6年度大竹市一般会計補正予算(第3号)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第56号	令和6年度大竹市下水道事業会計補正予算(第1号)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第57号	令和6年度大竹市港湾施設管理受託特別会計補正予算(第1号)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。 一：議長 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席 棄：棄権

請願

原案可決 政府・国に対して意見書を採択・提出しました

少人数学級の推進を含む計画的な教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度
2分の1復元をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の要請について

討 論

賛成



教育現場は多様な課題に直面し、教職員の長時間労働も問題です。子どもたちの学びを保障するには、少人数学級の推進と教職員定数の改善が必要です。給特法改正案だけでは根本解決にならず、人手不足と業務過多の解消が重要で

です。義務教育費国庫負担率の引き上げは、地方財政の負担軽減と教育の質向上に寄与します。よってこの請願を強く支持し、賛成の討論とさせていただきます。

意見書(抜粋)

2021年の法改正により、小学校の学級編制標準は段階的に35人に引き下げられるものの、今後は、中学校・高等学校での早期実施も必要で

す。学校現場では、貧困・いじめ・不登校など解決すべき課題が山積み、多忙化が一層進んでいます。

こうした中で、一人一人の子どもに対してきめ細やかで丁寧な対応を行うためには、働き方改革はもちろんのこと、国庫負担に裏付けされた少人数学級の推進と、加配の増員や少数職種の配置増も含む計画的な教職員定数の改善が求められています。

義務教育費国庫負担制度については、国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられたことにより、地方自治体の財政を圧迫しています。教育の機会均等が担保され、教育水準が維持・向上されるよう施策を講じ、教育予算を国全体としてしっかりと確保・充実させる必要があります。

よって、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が生計的に教育行政を進めることができるように、2025年度の予算編成にあたり、次の事項について、措置を講じられるよう強く要請します。

1. 中学校での35人学級を早急に実施すること。また、更なる少人数学級について検討すること。
2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
3. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。



請願や陳情は市民が市に対する意見や要望を議会に出すことな

んじや。請願を出すには議員の紹介がいるんよ。